

News of the forest



岐阜県の森林・林業

No.870

2026 March

FREE

ご自由にお持ちください。



# 森のたより

実践研修で、キャリアアップ支援!  
(フォレストワーカー研修)



# 令和7年度 山地災害防止写真コンクール受賞作品のご紹介

一般社団法人日本治山治水協会主催の「令和7年度山地災害防止写真コンクール」において、栗山和幸（岐阜県揖斐農林事務所林業課）さんが優秀賞を受賞されました。おめでとうございます。（表彰内訳は最優秀賞1点、優秀賞5点、奨励賞5点）

## タイトル 生活道路を守る谷止工&流路工



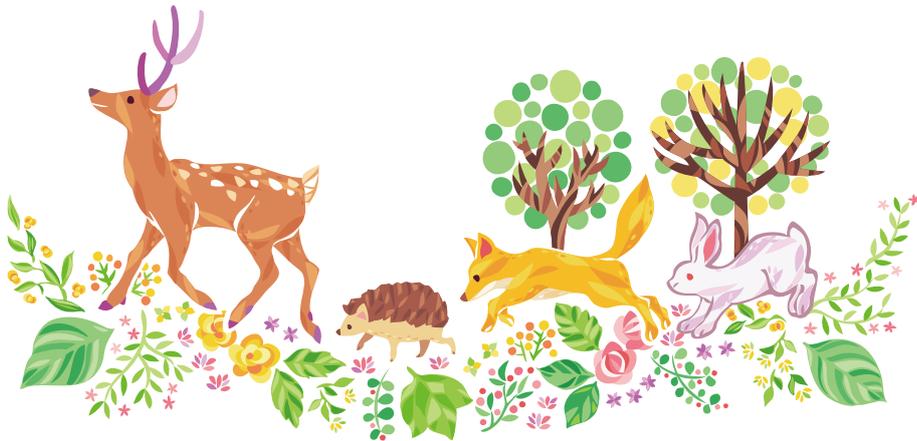
### 【参考】

**工事名** 予防治山 南谷地区工事  
(令和4年度から7年度施工)

**施工場所** 池田町藤代字南谷地内

**工事概要** 谷止工1基、流路工L=36.0m

### 施工前の状況



市況	22
イベントカレンダー(一般向け)(林業者向け)	21
アシストスーツで運搬・疲労を軽減化	20
国有林の現場から(113)	19
森林技術開発・支援センター きのこと通信(9)	18
普及コーナー スマート林業の推進について	17
森林作業道の損壊発生リスクを評価する地図の作成	16
研究コーナー	16
木工教育機関3校合同プロジェクト授業	16
連携先企業・募集中!	15
森林と人を活かす知恵(158)	15
木の香るぎふの施設(154) 中津川市会議棟	14
morinos 出前体験!	13
シリーズ「森林・環境税で、緑豊かな清流の国ぎふづくり」(11)	14
ぎふ木遊館通信	12
山の歳時記247 マツの葉利用	11
岐阜県全域で盛土規制法の運用が始まりました	10
岐阜県の森林・林業を支える技術者について	9
「森のジョブステーションぎふ」の取り組み	8
地域の人 森林の価値を次世代につなぐ「施業プランナー」	7
「ぎふ森のある暮らし」のお便り	6
令和7年度岐阜県緑化運動ポスターコンクール入賞作品が決定しました!	5
令和7年度山地災害防止写真コンクール受賞作品のご紹介	4
新たに10事業者と岐阜県木の国・山の国産材利用促進協定を締結	3
岐阜県みどりの少年団活動発表大会を開催しました。	2

## 目次 Contents

### 今月の表紙

写真は「森のジョブステーションぎふ(美濃市)」が実施するフォレストワーカー研修。新規就業者が3年間で一人前になることを目標に、林業に必要な知識や技術を身につけるプログラムを体系的に実施。7年度の研修修了者は38名でした。

# 新たに10事業者と「岐阜県木の国・山の国県産材利用促進協定」を締結

県では、令和5年度から、建築物等への県産材利用を促進するため、「岐阜県木の国・山の国県産材利用促進条例」に基づく「岐阜県木の国・山の国県産材利用促進協定制度」を運用しています。

令和7年10月15日に第4回目となる協定締結式を行い、新たに10事業者と協定を締結しました。

各事業者と協定を交わした江崎知事は、「岐阜県は『木の国・山の国』として豊かな森林資源を有している。県産材の利用促進は、森林の健全な循環や災害防止、地域経済の活性化に不可欠。今回の協定を機に、県と事業者が力を合わせ、木の魅力を広め、持続可能な社会づくりを進めていく」と述べました。

各事業者は、店舗や施設の木造化や内装の木質化を推進し、脱炭素社会の実現や循環型社会の形成、地域経済の活性化を目指します。

## ■第4回締結者

(50音順)

番号	協定締結者名(本社等所在地)	業種	協定の概要
1	揖斐郡森林組合(揖斐郡揖斐川町)	林業	事務所兼交流施設の木造化
2	桑原木材株式会社(愛知県犬山市)	製材	オフィスの木造化
3	医療法人清流会(愛知県一宮市)	医療	病院、福祉施設の木造化
4	東急電鉄株式会社(東京都渋谷区)	交通	駅舎等の内装木質化、木造化
5	陶都信用農業協同組合(多治見市)	組合	店舗の内装木質化
6	トヨタカローラ愛知株式会社(愛知県名古屋市)	販売	店舗の内装木質化
7	株式会社バローホールディングス(多治見市)	小売	ドラッグストアの木造化
8	ファインホールディングス株式会社(関市)	製材	倉庫兼工場の木造化
9	株式会社もく保育園(兵庫県姫路市)	福祉	保育園の木造化、内装木質化
10	株式会社ヤマニパッケージ(岐阜市)	包装	ショールーム、店舗の木造化



江崎知事挨拶



協定締結者の皆さん

●詳しい内容を知りたい方は [TEL058-272-8487](tel:058-272-8487) 県産材流通課 消費対策係まで

# 岐阜県みどりの少年団活動発表大会



## を開催しました。

令和8年1月17日（土）、森林文化アカデミー森の情報センターにおいて、岐阜県および公益社団法人岐阜県緑化推進委員会主催の「令和7年度岐阜県みどりの少年団活動発表大会」が開催されました。大会には、小学生が中心のみどりの少年団4団体と、中学生が中心の緑化少年団1団体が参加し、1年間の活動成果を発表しました。

審査の結果、「付知南小学校みどりの少年団」が3年連続で最優秀賞に選ばれました。発表では、森林と私たちの暮らしの関わりについて学んだこと、森林教室や林業体験、曲げわっぱづくりなどを通して森の役割や林業の仕事への理解を深めたこと、さらに生活科や図工で木を使った作品づくりに取り組み、木の良さを実感したことなどが紹介されました。

みどりの少年団・緑化少年団の皆さんには、活動を通して得た発見や驚きを大切にしながら、森林や緑を愛し、守り、育てる心を育み、仲間と力を合わせて楽しく活動を続けていってほしいと思います。



宮小学校みどりの少年団の発表



北方小学校みどりの少年団の発表



付知南小学校みどりの少年団の発表



北稜中学校緑化少年団の発表



中野方小学校みどりの少年団の発表

### 発表少年団及び審査結果

- |      |               |        |
|------|---------------|--------|
| 最優秀賞 | 付知南小学校みどりの少年団 | (中津川市) |
| 優秀賞  | 宮小学校みどりの少年団   | (高山市)  |
| 優秀賞  | 北稜中学校緑化少年団    | (高山市)  |
| 奨励賞  | 北方小学校みどりの少年団  | (揖斐川町) |
| 奨励賞  | 中野方小学校みどりの少年団 | (恵那市)  |



参加したみどりの少年団の皆さん

【公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 専務理事 田中 敏隆】

# 令和7年度 岐阜県緑化運動ポスターコンクール 入賞作品が決定しました!

県では、県民の緑化についての普及啓発を図るため、毎年、県内の小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校及び高等専門学校の児童、生徒を対象に「岐阜県緑化運動ポスターコンクール（後援：岐阜県教育委員会、（公社）岐阜県緑化推進委員会）」を実施しています。

令和7年度は242点の応募があり、審査の結果、入賞作品49点が決定しました。

また、入賞作品のうち、最優秀及び優秀作品について、令和8年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール（主催：（公社）国土緑化推進機構）へ推薦したところ、2名が入賞しました。

なお、入賞作品は、令和8年3月14日（土）から令和8年4月5日（日）まで、ぎふ木遊館（岐阜市学園町2丁目33番）にて展示します。（開館時間：午前10時～午後5時、休館日：毎週水曜日及び3月24日（火）と3月26日（木））

## 令和7年度岐阜県緑化運動ポスターコンクール

### 最 優 秀

#### 小学校低学年の部



養老町立日吉小学校2年  
志知 寿さん

#### 小学校高学年の部



羽島市立福寿小学校4年  
鈴木 瑠花さん

#### 中学校の部



山県市立美山中学校2年  
林 美玖さん

#### 高等学校の部



岐阜県立岐阜総合学園高等学校2年  
荒井 流々さん

## 令和8年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール

### 入選 国土緑化推進機構理事長賞



岐阜市立鶉小学校3年  
内木 睦太さん

### 入選 国土緑化推進機構理事長賞



安八町立登龍中学校2年  
高木 玖音濤さん

●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-8255 森林活用推進課 森林吸収源対策室 緑化推進係まで

# 岐阜県の森林・林業を支える技術者について



## 岐阜県林業士について

岐阜県林業士の制度は、昭和51年から始まり、森林技術者の社会的・経済的地位の向上と林業後継者の育成・確保を目的として、林業に関する優秀な技能を有する方を岐阜県林業士として県が認定しています。

令和5年度からは、技能レベルに応じた段階的な資格制度に見直し、「林業士長」や「林業士補」の資格を追加しています。（岐阜県林業士の制度については、森林のたより2025年4月号「859号」を参照ください。）

## 令和7年度認定者

今年度は、「岐阜県林業士」の認定試験、「林業士長」および「林業士補」の認定講習が行われ、それぞれの試験合格者等を対象に、県が設置する「岐阜県林業士認定審査会」が開催された結果、新たに次の技術者が認定されました。

### 〈林業士長〉

育林・素材生産に関する高度な技術を備え、技術・安全指導ができる方  
認定4名

### 〈林業士〉

育林または素材生産に関する高度な技能と知識を備えた方  
認定5名（育林3名、素材生産2名）

### 〈林業士補〉

育林に関する基礎的な知識・技術を有する方  
認定5名

表 林業士認定状況（R7年度末）

認定区分	認定者数
林業士長	10名
林業士	延べ1,664名（育林1,054名、素材生産497名など）
林業士補	27名



岐阜県林業士認定審査会の様子

新たに認定された林業士長には、認定書の交付と併せて、林業士長の証として、指導の際に着用する専用ビブスを授与します。

## 林業士長の役割

第1期に認定された林業士長は、林業の新規就業者に対して、安全作業に必要な基礎知識・技術を指導する人材として活躍しています。



林業士長の証

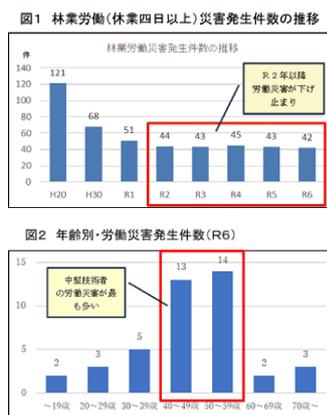
※このビブスを持っている方は林業士長です。



「緑の雇用」集合研修での指導の様子

## 新たな課題

一方、県内の林業労働災害は近年下げ止まり状況にあり、令和6年には42件発生しています。内訳を分析したところ、40～59歳の中堅技術者が全体の6割以上を占めていることが明らかになりました。



## 今後に向けて

これまで新規就業者の研修や支援を重点的に実施してきましたが、林業労働災害の実態を踏まえると、経験を積んだ技術者への対策も不可欠です。安全意識向上のための学び直し教育や、OJT指導員が技術力・指導力を高めるための研修体制を整備することが求められます。来年度からは、経験豊富な林業士長が中心となり、中堅技術者に必要な研修カリキュラムの作成に関わるなど、持続可能な人材育成を進める予定です。

【森林経営課担い手企画係】

# — 「森のジョブステーションぎふ」の取り組み —

## 森ジョブが目指すこと

岐阜県は県土の約8割を森林が占める、全国有数の森林県です。その豊かな森を次世代につないでいくために欠かせないのが林業を支える「人」の存在。

一方で、日本社会は今、少子高齢化の進行により生産年齢人口の減少という大きな転換点を迎えています。地域産業の多くが人材確保に苦勞する中、林業はとりわけ厳しい状況に直面しています。

その理由は何でしょうか？ 林業は自然条件に左右され、一定の体力や技術も求められます。そのため他産業と比べて就業のハードルが高いと受け止められがちで、労働環境やキャリア形成のイメージがしにくいことも要因と考えられます。

こうした課題に対応するために「森のジョブステーションぎふ」は設置され、林業に関心のある方、就業を希望される方に、仕事の内容、就業までの流れ、事業体の紹介、就業後の技術研修まで、きめ細かなサポートを提供しています。

## 林業が持つ「これから」の魅力と可能性

それでは、産業として林業の魅力と可能性は実際どうなのでしょう？

### 1. 社会に不可欠な役割を担う「林業」

森林は、木材生産だけでなく、水源かん養、土砂災害の防止、地球温暖化対策など、私たちの暮らしを根底から支えています。林業は、こうした機能を維持・発揮させるために欠かせない社会的意義が非常に高い仕事です。

### 2. 成長産業としての「林業」

国産材の利用拡大や木材需要の多様化、脱炭素社会への対応など、「林業」は新たな展開を見せています。素材生産だけでなく、バイオマス利用、森林サービス産業など、今後は多様な形態での成長が期待されます。

### 3. 技術革新による働き方改革

高性能林業機械やICTの導入により作業の効率化や安全性が向上しています。「体力勝負」「経験頼み」といった従来のイメージから、知識と技術を活かす「知的なフィジカルワーク」として「林業」は変革しつつあります。

### 4. 地域と深く関わりながら働ける魅力

「林業」は地域と密接に結びつき、暮らしや文化を支えている実感を得られます。また、移住を考える人にとっても、仕事と生活を一体で考えられる魅力的な仕事です。

## 「林業」っていいかも

このように、「林業」は、魅力と可能性を秘めています。「森のジョブステーションぎふ」は、森と人をつなぐ“入口”として、新たな一歩を踏み出す皆さんを応援します。岐阜の森で働く未来に、関心を持たれた方は、気軽にご相談ください。お待ちしております。



【ぎふ林業体感・見学ツアー】  
林業への就業を考えている方に、実際の仕事の現場を体験・見学してもらいます



【林業就業相談会】  
林業事業者とのマッチングを行います



【フォレストワーカー研修】  
就業後、段階的に実施される技術研修



【ぎふ林業甲子園】  
将来を担う高校生たちを対象に森林・林業に関する知識、技術を競う競技会を開催

森のジョブステーションぎふ

住所：美濃市曾代88 岐阜県立森林文化アカデミー テクニカルA棟  
TEL：0575-29-3838 E-mail：m-job@gifu-shinrin.or.jp



## 森林の価値を次世代につなぐ施業プランナー

本巢市森林組合 業務課 係長 渡邊 駿さん



今回は、今年度に「施業プランナー」を取得された、本巢市森林組合の渡邊駿さんを紹介します。

### 林業を仕事に選んだきっかけは？

令和4年に本巢市森林組合に就職しました。今年度で4年目になります。

前職では、プログラマーやシステムエンジニアとして働いていましたが、IT関係の職務経験を、自分が関心のある分野で活かしたいと思い転職を決めました。自分の興味に立ちかえると、小学生から高校生まで、子どもキャンプや、子供たちの山登りの引率に参加しており、アウトドアや森林が好きだったという感

覚があります。そうした経験から、森林に関係する仕事に魅力を感じました。

転職活動をしていた当時は、ちょうどGNSS測量機器やドローン、OWLが林業の現場で普及し始めた頃で、本巢市森林組合でもこれらを導入し、いざ活用を始めようとしているタイミングでした。林業の世界でICT化が進んでいることが初めは意外でもありましたが、前職の経験を活かしたいと思い現在の職場に就職しました。

### 現在の業務内容は？

施業プランナーとして、森林調査や測量、森林経営計画の作成、補助申請のための現場監督業務を、森林整備、林産の両面で担当しています。

ICT技術の活用という点では、伐採前の資源量を把握する材積調査で、空撮用ドローンを活用しています。伐るまで分からなかった材積を、伐採前に、より正確に把握する

ことで、森林所有者の方への説明や見積もりに活用しています。一方で、木材の歩留まりなどは、実際に林内を歩き、調査を重ねた経験からしか分からない部分も多いと感じています。機械だけを頼りにするのはなく、自分自身で行った森林調査の結果と照らし合わせるなど、正確性を向上させるために、有効な使い方を確立していきたいと思っています。



ドローンを操作する渡邊さん

### 「施業プランナー」を取得した理由と、今後の意気込みを教えてください。

「施業プランナー」を取得した理由は、森林の価値を取り戻す手伝いをしたいと思ったからです。

本巢地域の森林は利用期を迎えています。日頃、森林所有者の方と話をしていると、森林に対する意識の低下を感じる場面も少なくありま

せん。森林の価値の生み出し方は、木を伐って販売する木材生産だけではないと思います。適切な森林整備を行い豊かな森林を将来に残すこと自体も大きな価値になり、カーボン・クレジット制度と結びつけることで、伐らずに残された森林にも経済的な価値を生み出すことができま

す。施業プランナー研修で、森林に関する基礎知識や施業提案の考え方と伝え方を学んだので、今後は、森林所有者の方の考えや森林の状況に応じて、様々な選択肢を提案できるようになりたいです。それにより、森林所有者の方に森林の価値を見出してもらえたら嬉しいですね。



仕事風景

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0581-21417409 (直通)

岐阜農林事務所林業課まで



令和5年1月に設立された「ぎふ森のある暮らし推進協議会」から「遊び」「学び」「健康」などに森林を活用する「森林サービス産業」に取り組む会員の活動をご紹介します！

## 第6回 「株式会社ひとと木の森&付知町森林組合」



### 株式会社ひとと木の森 (飯地高原自然テント村)

#### ●活動内容

岐阜県恵那市の北西部にある標高600m高原キャンプ場「飯地高原自然テント村」を運営。里山に囲まれた土地を活用するため、キャンプをきっかけに自然の中で過ごし遊びと学びを体験。キャンプ場近隣に異なる3つの森を維持管理。「イージーフォレスト」はいわゆる山林の里山。「真森」は平地の湿地帯もある森。「トウトウヌーイの森」は、人工放置林だった場所を森林空間施設整備促進事業でデッキのある森としてイベントで利用しています。

#### ●押しポイント

恵那市の中でも一番人口の少ない町ではありますが、地元の協力もありキャンプ利用者が安心して来られる場所。年間を通して様々なイベントを行なっているので幅広い年齢層のファンも多いです。



タイニーハウス



冬のテント村

#### ●リンク先

HP : <https://ijitentomuracamp.localinfo.jp>  
 インスタグラム :  
<https://www.instagram.com/rustic.field/>



HP



インスタグラム



### 付知町森林組合

#### ●活動内容

付知町森林組合では、森林を守り育てる事業として森林整備事業を行う他、森の恵みを生かした事業に取り組んでいます。その中の森林サービス産業では、昭和51年より付知峡の豊かな自然をキャンプ場として整備し、現在では4箇所のキャンプ場を運営しており、野外教育学習やレクリエーションの場としてフィールドを提供し、愛知県内の学校や学童、その他団体にもご利用いただいております。

令和6年度にぎふ森フェスへ参加し、令和7年度は「中津川市の森の恵みを使ったネイチャークラフト&清流付知川デイキャンプ」を体験プログラムとして開催しました。

地元製材所の端材や森で採取した枝など用いたクラフト体験やアルプホルンやカリンバといった民族楽器を緑に囲まれた中で奏でるなど、1日を通して子どもから大人まで付知町の自然に触れることのできたイベントになりました。

#### ●押しポイント

付知峡の森林空間にあるキャンプ場では、オートサイトや県産材の桧を使用したキャビン、コテージはとても人気があります。場内では川遊びやBBQ、焚き火などを清流付知川の河畔で楽しむことから、中京圏を中心に休日には多くの家族連れで賑わいます。



森林キャンプ場



ネイチャークラフト

#### ●運営するキャンプ場

「塔の岩オートキャンプ場」、「本谷オートキャンプ場」、「森林キャンプ場」、「BeGreen日和立」

#### ●リンク先

・ホームページ <https://www.tsukechi.net/>

#### ●連絡先

キャンプ場受付専用 → TEL : 0573-82-2900  
 森林組合業務専用 → TEL : 0573-82-2901  
 MAIL : [tshinrin@poem.ocn.ne.jp](mailto:tshinrin@poem.ocn.ne.jp)

ぎふ森のある暮らし推進協議会では、県内で「森林サービス産業」に取り組んでいる/取り組もうとしている方を会員として募集しております。詳しくは下記までお問い合わせください。

TEL:058-272-8472 メールアドレス:c11513@pref.gifu.lg.jp

協議会HPはコチラ



# 岐阜県全域で盛土規制法の運用が始まりました

## 【盛土規制法とは】

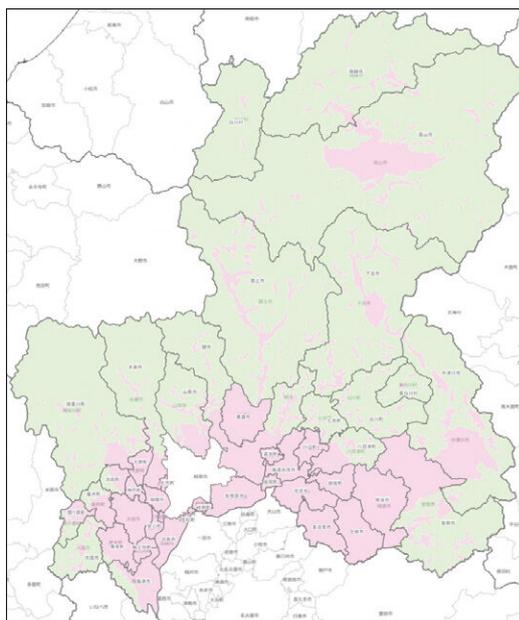
- 盛土等による災害から国民の生命・身体を守る観点から、盛土等を行う土地の用途（宅地・森林・農地等）にかかわらず、危険な盛土等を全国一律の基準で包括的に規制する「宅地造成及び特定盛土等規制法」（通称「盛土規制法」、令和4年5月27日公布）が、令和5年5月26日から施行されました。
- 岐阜県では、令和7年4月1日より県内全域を規制の対象としています。
- 盛土等が行われた土地について、土地所有者等が常時安全な状態に維持する責務を有することが明確化されました。
- 災害防止のために是正が必要な場合は、土地所有者だけでなく原因行為者に対しても県知事より是正措置等が命令されます。

## 【罰則について】

最大で拘禁刑3年以下、罰金1,000万円以下・法人重科3億円以下

## 【林業関係事業との関連について】

- 林道：公共施設である道路に含まれるため、本法の規制対象外です。
- 治山施設：公共施設である林地荒廃防止施設として、本法の規制対象外です。
- 森林作業道：森林の施業を実施するために必要な作業路網の整備に関する工事として、本法の許可不要工事に該当します\*。路網と一体的に整備される土場についても同様です。



## ※注意点

- 森林作業道は、岐阜県森林作業道作設指針もしくは岐阜県林業専用道作設指針に基づいて作られた路線のみが、許可不用工事に該当します。
- 残土を現場外に運び出し処理する場合や、現場内であっても路網等の施設に該当しないもの（単に残土処理場とするもの）、森林の施業を実施するためでない路網（林内の太陽光発電所のための管理路等）は、本法の規制の対象となります。

図：県内の規制区域（令和7年4月1日時点）

## 岐阜県建築指導課HP

（<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/391371.html>）より

凡例 緑：特定盛土等規制区域 赤：宅地造成等工事規制区域

※岐阜市内は全域が宅地造成等工事規制区域です

## 【県内の窓口】

岐阜市内：岐阜市 まちづくり推進部 開発・盛土指導課 盛土指導係

<https://www.city.gifu.lg.jp/info/machizukuri/1008055/1025292/index.html>

岐阜市を除く岐阜県内：岐阜県 都市建築部 建築指導課 盛土規制係

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/421390.html>

○詳細は下記をご参照ください

- 岐阜県建築指導課HP「宅地造成及び特定盛土等規制法（通称「盛土規制法」）の施行について」  
<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/359943.html>
- 国土交通省HP「盛土規制法総合窓口（ポータルサイト）」  
<https://www.mlit.go.jp/toshi/morido-portal.html>
- 林野庁HP「盛土等の安全対策」  
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/tisan/tisan/morido.html>



●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111（内線 4385）森林経営課 整備係まで



「川尻さん、松葉茶飲まれますか」、いつも珍しい産品を紹介して下さる方が豊田市小原の「松葉茶」を持って来てくださいました。

マツの葉や樹皮を利用した飲み物と言えば、アカマツの若葉を砂糖水に漬けた松葉サイダーや、これを3〜4年発酵熟成させた松葉酒が有名です。他にはタイワンアカマツ (Pinus massoniana) の葉や樹皮で燻して香りづけした紅茶ラプサンスーチョン (Lapsang-

Souchong)、フランス海岸松 (Pinus pinaster) の樹皮を利用したフラバンジエノールも健康飲料として有名です。

マツは木造建築の梁桁材や水中杭や土中杭、登り窯などの燃料となる松薪など木材の利用だけでなく、戦時中に利用検討された松根油なども重要視されました。

特にマツから採取される松脂 (まつやに) は、野球のピッチャーが利用するロジンや、油絵の具のテレピン油、ピッチ、香料、鉛の精製、バイオリンなど弦楽器の弓の塗布剤など幅広く利用され、面白いものではシャボン玉原液の粘り剤にも利用されました。

韓国ではチョウセンゴヨウマツの松実が料理などに利用されるばかりか、アカマツの花粉を蜂蜜で練って団子にしたものを結婚のお祝いの席などで振る舞われます。

また日本でも秋田県由利本荘市では、お餅にアカマツの内皮を練り

込んで松皮餅を作ります。

マツ属は北半球を中心に約百種類ほど分布し、日本にはアカマツ (Pinus densiflora)、クロマツ (P. thunbergii)、リュウキュウマツの二葉松が3種、そしてヒメコマツ (別名ゴヨウマツ)、キタゴヨウ (ヒメコマツの変種)、チョウセンゴヨウマツ、ハイマツ、ヤクタネゴヨウの五葉松が4種1変種、合計8種類があります。

アカマツの自生地は北限は北海道苫小牧市樽前山国有林で、クロマツは青森県下北半島先端部の民有林とされます。最高標高を見るとアカマツは長野県下の大山国有林2,290m付近、クロマツは鳥取県下の大山国有林950m付近とされます。

マツ類は1年中濃い緑を保ち、厳しい風雪に耐えて独特な樹型をつくるため、日本人は「霊性」

の宿る神聖な植物、長寿や節操を象徴する植物として尊んできました。またマツの語源は神が天降られるのを「待つ」、または葉が二股の「股」が転じてマツ、あるいは「神を祀る木」から転じたとも言われます。

さて冒頭の松葉茶はフラボノイドの1種であるケルセチン (quercetin) やクロロフィル、ビタミン類も含まれ、ノンカフェインの飲料として豊田市の認証も受けられているものだったのです。



アカマツの葉を粉碎加工した「松葉茶」

# ぎふ木遊館通信

ぎふ木遊館では子どもだけでなく、大人向けの木育プログラムも開催しています。今回はギャラリー企画展「中津川市 木曽ヒノキと伊勢神宮式年遷宮」の開催に伴い、裏木曽古事の森の案内人に講話いただきましたので紹介します。

## 木育プログラム『裏木曽古事の森』案内人による講話「木曽ヒノキと伊勢神宮式年遷宮」

当日は全国的に大雪で、岐阜市でも11cmの積雪が観測されました。足元が悪い中、多くの皆様にご来館いただき、裏木曽古事の森育成協議会の登録ガイドである桂川利也さんを講師に迎え、木曽ヒノキと伊勢神宮式年遷宮とのかかわりについてお話しいただきました。

中津川市は岐阜県東部に位置し、面積の約80%を森林が占める豊かな森が育まれた地域です。

中津川市北部の加子母・付知・川上地域は「裏木曽」と呼ばれ、古くから優良なヒノキが産出されてきました。こうした中、地域には「裏木曽古事の森」が設定され、木の文化を大切に守り続けています。

古来から豊富な森林資源があり、江戸時代には時の権力者や材木商人による乱伐が繰り返され、森林資源が枯渇したため、材木商人だけではなく、村人も山への立ち入りが禁止されました。そこで尾張藩は「御山守（おやまもり）」を任命し、厳しく山の管理を行いました。御山守はその土地に合った林業を実践し、山林の荒廃を防ぐ対策を行った結果、裏木曽地域は日本で有数の「ひのき美林」が形成されました。



木製の斧のレプリカを片手に三ツ緒伐りを解説される講師

### 「古事の森」とは？

歴史的建造物や伝統工芸などの「木の文化」を後世に継承していくために、必要な木材や木の皮などを供給する森として、林野庁が「木の文化を支える森」を創設し、特に歴史的建造物の修復に必要な木材を育てるための森を「古事の森」と呼んでいます。



ギャラリー企画展  
「中津川市 木曽ヒノキと伊勢神宮式年遷宮」

桂川さんは木製の斧（よき）のレプリカを見せながら伐倒方法や、丸太の運搬方法などを解説されました。

令和15年に執り行われる第63回伊勢神宮式年遷宮の御神木（御樋代木（みひしろぎ））を伐採する「御杣山（みそまやま）」が木曽・裏木曽に決定され、昨年6月に「裏木曽御用材伐採式」が加子母裏木曽国有林で斎行されたことを写真で紹介されました。また、参加者は伝統伐採技法「三ツ緒伐り（みつおぎり）」の様子を動画で視聴しました。

伐採された御神木は玉切、化粧掛けを施し、中津川市内各地でお木曳行事と郷土芸能でお祝いされ、多くの人たちに見送られ伊勢神宮まで運ばれました。

### 「御杣山」とは？

伊勢神宮式年遷宮の御神木を伐り出す山のこと

### 「三ツ緒伐り」とは？

3人の杣（そま、林業技術者）が斧を使い、同時に幹の中心に向け穴を貫通させ、残った3か所の弦から追い弦（おいづる）を伐ると大径木を傷めることなく伐採することができる

杣たちは、木がきしむ音をたてて倒れることを「木が泣きながら寝る」と言う

## ☆ぎふ木遊館公式ホームページ☆

ぎふ木遊館がどんな施設なのか等の施設案内、木育プログラムやイベント情報等を掲載しております！  
また、ホームページの「事前予約のお申込み」から各種予約ができますので、ぜひご利用ください。





やがてみんなの森になる

# morinos

## 出前体験!

岐阜県立森林文化アカデミー・森林総合教育センター (morinos) は森と人をつなぐ「森の入り口」となる施設です。今回は岐南町にあるうれしの認定こども園での出前体験の様子を紹介します。

### うれしの認定こども園の森の出前～子どもたちが創り出した自由な遊び～

今回の森のじかんは、うれしの認定こども園の園庭が舞台。総勢139名の子どもたちと一緒に自由な遊びを満喫しました。園庭にある身近な自然に加え、morinosからは様々な道具や素材を「自由な遊びのきっかけ」として持ち込みました。

目的はただ一つ、「子どもたち自身が遊びの主役になること」です。指示やプログラムは一切なし。子どもたちの「やりたい!」という気持ちを大切に、好きなことをして遊びが生まれる時間になりました。



一番人気はノコギリ、カナヅチ、ドリルなどの本格的な道具を使うコーナーでした。夢中になって木を切り、釘を打つ。年長児はもちろん、年中児も真剣に挑戦し、作品を作り出す子や切って叩く体験を楽しむ子、ドリルを使って木に穴を開ける子など、遊びの幅は様々でした。



中には、木だけでなく、地面にもドリルで穴をあけて「地球の深さを調べるんだ!」と探求する子の姿も見られました。morinosから持ち込んだ自然の素材と園庭の素材が組み合わせることで、子どもたちの遊びは大きく広がりました。

今回は遊びの中で、安全に配慮した小さな焚き火も行いました。園の畑で収穫されたサツマイモのつるやわらは遊びの道具だけでなく、焚き火の燃料にもなりました。身近な自然が遊びと生活の資源として循環する、貴重な学びの機会となりました。



今回の活動の中で、大人と子どもが力を合わせて遊びを作り出す姿が印象的でした。片付けの時間が近づくと、多くの子どもたちから「もっと、まだまだ遊んでいたい!」と名残惜しむ声もあがりました。これからも自然を通して、子どもたちが創り出す自由でダイナミックな遊びを出前体験で支援していきます。

morinos HPでは、こうした日常風景からプログラムまで、様々な活動報告を行っています。興味を持ってくださった方は、morinosのHP、YouTube動画をご覧ください。

ホームページ <https://morinos.net>

開館時間 10:00~16:00

YouTube 検索「morinosチャンネル」

定休日 毎週火・水曜日



morinosHP



YouTube  
「morinosチャンネル」

## 『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取組みを行っています。こうした取組みの内容について連載で紹介します。

## ～水田魚道の設置等による水みち連続性確保及び効果検証～

水田魚道の設置を促進することで、生態系保全とともに地域の環境意識の高揚、環境保全型農業の発展につなげます。

## ■水田魚道の設置

- 令和6年度に養老町下笠地内で現地研修会を開催し、水田魚道を設置しました。
- 地域住民・関係者ら計10人が参加し、組み立て・設置を行いました。



【講義状況】



【設置魚道】

## ■水みち連続性の効果検証

- 水田魚道の設置に有効な場所や条件等を検証するため、水路に生息する魚類等の調査を実施しています。
- 令和7年度は河川と農業排水路との落差解消効果を評価するために、県内の排水路における魚類調査を3地区(23地点)で実施しました。



【排水路における魚類調査】



【調査で確認したナマス】



【調査で確認したオイカワ】



施設全景

## 施設の概要

事業年度	令和6年度
事業主体	中津川市
構造 延床面積	木造(一部鉄骨造)2階建 770.83㎡
施設用途	庁舎
木材使用量 使用樹種	185.43㎡ ヒノキ、スギ
全体事業費	275,000千円(建築主体工事)
助成額	30,000千円(ぎふ県産材利用促進施設等整備事業)
設計者	株式会社サニー建築設計
施工業者	宮島建設株式会社 ミリオン電工株式会社
工期	令和6年6月27日～令和7年3月21日

## 施設の経緯

市役所本庁舎及び健康福祉会館の周辺で不足している会議室問題を解決するため会議棟を建設しました。

会議棟の工法には、新技术であるCLT工法の普及、地場産業の振興の面から、CLT工法と在来木造を合わせた木造軸組工法を選択しました。

CLT工法と在来木造の良いところを組み合わせた構造にすることにより必要とする空間を確保しました。

中津川市の公共施設では初めてのCLTを用いた施設です。



CLT工事



CLTを意匠的に用いた玄関庇



リラックスした  
打合せが出来る部屋



図面を上げた  
打合せが出来る部屋



コミュニケーションの場

若者や女性職員の意見を多く取り入れ多様なニーズに合わせた会議室・備品を複数整備・導入しました。  
将来の庁舎づくりや、働き方を見据えた建物となっています。

## ここに注目!!

CLTを構造材として、壁、床に、意匠的に玄関庇で用い、CLTそのものをあらわしそのまま利用した施設になっています。

## 利用者の様子

県産材を最大限に利用した施設であり、木の香り温もりを感じながら、打合せや業務を行っています。

問い合わせ先

中津川市総務部総務管財課  
TEL 0573-66-1111



森林と人を  
生かす知恵  
158

## 連携先企業、募集中！ 木工教育機関3校合同プロジェクト授業

岐阜県立森林文化アカデミー ● 久津輪 雅

### ◆岐阜県には4つの木工教育機関

ご存知でしたか？匠の国・岐阜県には4つの木工教育機関があるのです。森林文化アカデミー、木工芸術スクール、飛騨職人学舎、森林たくみ塾。前者2校は県立、後者2校は民間で、それぞれに特徴のある教育を行っています。このうち森林文化アカデミーと民間2校は2年制なので、応用的な実習ができます。そこで数年前から民間企業と連携した3校合同プロジェクト授業を行っています。その様子をご紹介します。

### ◆企業との連携

2024～25年度は、瑞穂市の板蔵ファクトリー株式会社と連携しました。きっかけは同社の吉田香央里社長から森林文化アカデミーに「一枚板テーブルの存在感に負けないテーブルの脚を作りたいので、学生さんに斬新なデザインを考えてもらえないか」と相談があったことでした。3校で取り組んだ方がきつと面白いものが生まれるはずと考え、職人学舎・たくみ塾の指導員たちに相談して快諾をもらい、プロジェクトがスタートしたのです。

### ◆交流しながら学び、考え、作る

アカデミーは美濃市、職人学舎とたくみ塾は高山市と離れている上、普段は各校とも実習がありません。そのためプロジェクト授業は5～7月の週末に日程を組み、各回ごとにそれぞれの学校を訪問して、施設見学も兼ねながら進める工夫をしました。まず5月、板蔵ファクトリーで一枚板テーブルの見学し、吉田社長からテーブルの脚の課題を出していただき、アカデミーでチーム分けをして作戦会議。6月は職人学舎で各チームのデザインの中間報告。7月はたくみ塾で製作、そして7月末に各チームのプレゼンと表彰。

チームは学校対抗ではなく、あえて各チームに3校の学生が混ざるようにして、交流しながら学び、考え、作ってもらおうという仕掛けをしました。学生たちは普段会うことができないので、実習後にたびたびオンラインでつながり、デザイン検討を重ねました。

### ◆限られた時間で製品を仕上げる

7月中旬、たくみ塾に3校の学生たちが集まり、各チームに分かれて製作開始。2日間で製品を仕上げます。他

校の学生たちにとっては慣れない機械もあるため、3校の指導員が見守ります。タイムリミットがある中での製作は、各チームとも必死でした。

1週間後、できあがった作品を吉田社長をはじめとする審査員で採点して表彰。今年度は橋脚と行灯をモチーフにしたもの、三角形の立体を組み合わせたもの、寺社建築の組物をモチーフにしたものと、ユニークな作品が並びました。

### ◆効果はたくさん

このプロジェクト授業、さまざまな効果がありました。まずは作品が板蔵ファクトリーで実際に商品化されたこと（既に売れた商品も！）。そして3校の中から板蔵ファクトリーに就職した学生が出たこと。3校の指導員同士にとってもお互いの学校の施設や指導法を見る良い機会になったこと。岐阜県の恵まれた環境を生かし、木工教育の質を更に高めていこうと思います。そして県内企業のみならず、連携しませんか？ぜひ森林文化アカデミーまでご相談ください。



寺社建築の組物をモチーフにしたもの



三角形の立体を組み合わせたもの



橋脚と行灯をモチーフにしたもの

●詳しい内容を知りたい方は TEL (0575) 35-2525 県立森林文化アカデミー まで

# 森林作業道の損壊発生リスクを 評価する地図の作成

森林研究所 和多田友宏

## はじめに

主伐・間伐等による木材の集積・搬出や主伐後の再造林等の森林整備のために継続的に用いられる森林作業道は、土構造（切土・盛土）を基本とすることから、作適地は限られます。事業地選定の段階でまともりをもった作適地を把握するためには、「路網整備難易度推定図」等の利用が有効です。（「路網整備難易度推定図」について、詳しくは森林のたより860号を参照ください。）

事業地選定後に森林作業道の詳細な線形検討を行う際には、崩壊危険地を考慮した検討が重要です。そこで、崩壊危険地を考慮し森林作業道整備における損壊発生リスクを評価する際の参考とするため、林地の傾斜角度（以下、傾斜）と平面曲率（凹凸）の数値から地図を作成し、現地検証しましたので、その結果を報告します。

## 地図の作成方法

地図の作成にあたっては、地形データ（5mメッシュの数値標高モデル）を使用し、傾斜と平面曲率を計算しました。

メッシュ毎の傾斜と平面曲率の値から7区分に分類した地図を作成しました（図1左）。

## 現地検証結果

地図の区分内容を検討するため、既設森林作業道14路線（設計幅員3.0m以下）において検証を行いました。調査路線で発生した損壊のうち、崩壊土砂が下方の保全対象等へ流下することで、重大な災害につながる恐れの高い「盛土崩壊」との関係を検査しました（図2）。

路線全体を5m間隔で区切った箇所（7区分の地図）は図1左のとおり、「傾斜20度未満」から「傾斜35度以上」まで広く分布していましたが、盛土崩壊箇所（盛土崩壊箇所）の地図上の区分は図1右の

とおり、傾斜35度以上が約9割を占めており、傾斜30度未満に区分されていた箇所での盛土崩壊はありませんでした。

この結果から、傾斜と平面曲率を組み合わせた地図によって損壊発生リスクが高い場所を評価できることが確認できました。さらに「傾斜35度以上かつ凹地形」と「傾斜35度以上かつ凸地形」において考慮することのできる約9割の崩壊危険地を避けることができることから、傾斜35度以上の箇所のみ着色した地図を新たに作成しました（図1右）。

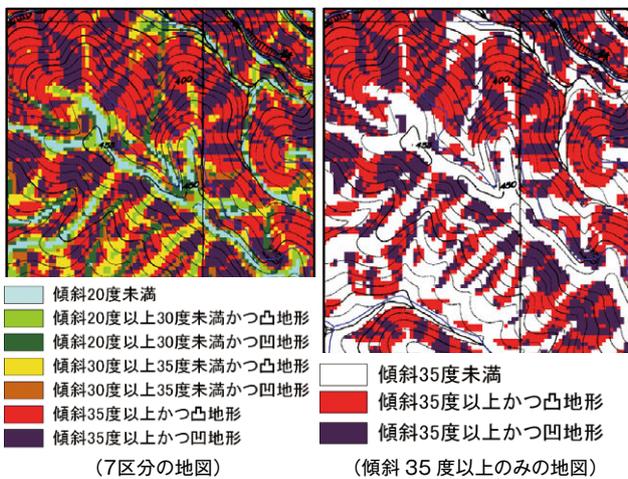


図1 作成した地図

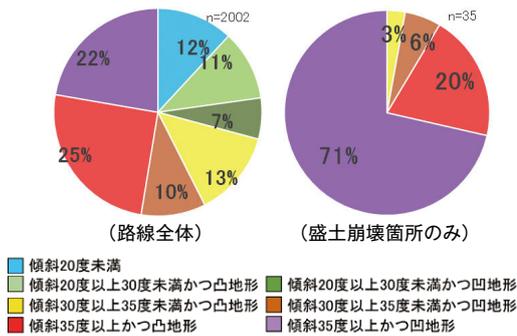


図2 調査路線の地図区分内容の割合

※nは測点数

## おわりに

今回作成した地図は県内全域分を作成し、当所のウェブサイトにある「ぎふ森林情報WebMAP」にて3月下旬に公開予定です。また、この地図の活用方法についても当所ウェブサイト上で公開している手引き書「壊れにくい道づくりのための森林作業道作設の手引き」を改訂し、地図と合わせて公開予定です。壊れにくい森林作業道作設のため、是非ご活用ください。

● 詳しい内容を知りたい方は  
TEL 0575-3312085  
森林研究所まで

# スマート林業の推進について

森林文化アカデミー 森林技術開発・支援センター

スマート林業推進係 藤井 敦



森林文化アカデミー 森林技術開発・支援センター スマート林業推進係（以下スマ林係）は、GIS、GNSS等測量関係から、チェーンソーやハーベスタ等の伐採機械の指導まで幅広く担当しています。

今回は、令和7年度に開催したスマート林業関係研修や林業機械研修の内容を幾つか紹介します。

●林業架線作業主任者免許対策勉強会  
日 時…5月19日、20日  
参加者…6名

（森林組合、林業事業体）

内容…  
岐阜県は、急峻な地形が多く、木材生産を行うための森林作業道を開設する場所が限られており、架線を張らないと集材出来ない森林が多くあります。

このため県は、架線技術の重要性を鑑み、令和4年から林業架線作業主任者免許試験対策の勉強会を実施しています。

これまでに勉強会参加者の内約7

割が免許を取得し現場で活躍してもらえます。

来年度以降も勉強会を開催しますので、これから架線に取り組まれる方は是非参加してください。

●GIS等研修  
日 時…5月15日他5回  
参加者…52名（県、市、森林組合、林業事業体）

（林業事業体）

内容…  
これからの森林管理は、職員間で情報共有可能なGISが必須です。但し測量器具やGISソフトは高額な物が多く小規模林業事業体では導入が困難でした。

このためスマ林係では、令和2年から無料GISソフトのQGIS研修を始めました。

研修は、施業の管理、補助金申請に活用出来る内容にしています。

当研修は、毎回申込者が多く、今年度は、12月以降にステップアップ研修も開催しています。

多くの方にコストを掛けずに、森

林管理を行う手段を学んで頂きました。

●若手林業普及指導員育成  
林業機械研修

日 時…8月19日  
参加者…若手林業普及指導員5名  
場 場…森林文化アカデミー  
テクニカル棟前広場

内容…

岐阜県林政部職員の内、40歳未満の若手を対象に令和元年度から林業機械の研修を実施しています。

若手職員の中には、林業機械に触れた事が無い人もいることから、機会を与え興味を持ってもらい、将来、林業機械関係の指導が出来る人材を育成することも研修目的になっています。

研修内容は、スマ林係職員が重機操作時の注意事項説明後に、アカデミー所有のグラップル、フォワードを使用し操作体験を実施。その後ワイヤーアイスプライス（輪を作る作業）を体験して貰いました。

研修生からは、貴重な操作体験が出来て良かった。林業機械に興味を持った等の感想を頂きました。来年度以降も内容を検討しながら継続する予定です。



若手Ag育成研修の様子

●AIによる広葉樹資源解析研修  
日時…11月11日  
参加者…37名（県、市、森林組合、林業事業体）

内容…

岐阜県の広葉樹面積は、全森林面積の4割強を占めているにも関わらず有効に活用出来ないのが実態です。

特に飛騨地方では、広葉樹面積の割合が6割を占め、木工産業も盛んです。

今回は、京都市のDeepForest Technologies（株）が開発したソフ

トを使用し、高山市丹生川町の高山市有林でドローン撮影した写真を解析し、広葉樹の樹種判定・材積推定を行う研修を開催しました。

質問時間を長く取ったため、講師と受講者の間で活発な質問・意見交換が出来ました。

今後、当ソフトにより飛騨地域等で広葉樹資源量や、シイタケ原木となるナラ等の分布把握などでの利用が進み、県内の木材産業が発展することを期待します。

### ●森林整備事業「デジタル申請支援」

国では、令和7年3月に「森林整備事業における補助金のデジタル申請・検査 ガイドライン」を作成しました。

県では、令和7年度をデジタル申請の試行期間として各森林組合や林業事業体の協力を得ながら進めて来ました。

岐阜県内でGNSS測量は、かなり進んできましたが、ドローンによるオルソ画像作成・補助金申請は、令和6年度末までに2森林組合しか実施出来ていませんでした。

今年度は、ICT技術導入支援事業等でドローンを使用した補助金申請に協力頂いた森林組合や林業事業体3社を訪問し、指導や聞き取りを実施しました。

現場条件や、申請内容によって課題も異なりますが、デジタル申請を

活用する場合に少しでも省力化になる方法を引き続き検討したいと考えています。



デジタル申請打合せの様子

### ●最後に

新しい技術を導入し、作業コスト削減、省力化を図りたいところ近年の物価上昇で、数年前の1.5倍も価格上昇している商品もあります。

高額でなかなか手の届かない商品も有りますが、スマート林業推進係では、今後も新しい情報を発信しますので活用の参考として頂ければ幸いです。

スマート技術を活用し、安全で省力化的林業を目指しましょう。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL0575-1351-2535

岐阜県立森林文化アカデミー  
スマート林業推進係まで

## 森林技術開発・支援センター きのご通信 9 菌床シイタケの高温対策

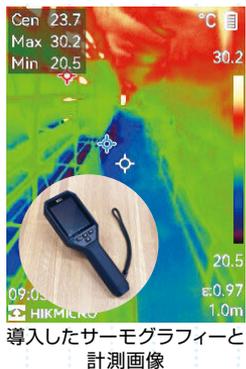
2025年は非常に暑い夏となりました。気象庁によると、2025年の夏の全国の平均気温は、統計開始以降で最も高い値を記録したそうです。2023年、2024年にも記録を更新しましたが、それらと比べても断トツで暑かったようです。シイタケ菌は30℃以上の高温になると菌糸成長を抑制し、キノコの発生に悪影響を与えます。ハウスで菌床シイタケを生産する際には、ハウス内の散水やハウスの内張り断熱等により対策が可能ですが、今回はその他の高温対策について紹介します。

熱によってハウスの温度が上昇します。ハウス周辺への散水や緩衝帯(緑地等)の設置によって、輻射熱によるハウスの温度上昇を抑えることができます。また、ハウスの屋根への散水も有効です。

今年度、きのご振興センターでは、温度を計測するためのサーモグラフィーを導入しました。ハウス内の局所的な温度を計測することが可能であり、より効果的な高温対策に役立てていきたいと思えます。

### ①菌床の間隔

培養期間中の菌糸成長が活発な時期は菌床が発熱します。扇風機等を利用した空気の循環によって菌床内の熱の放散が可能です。菌床同士が接していると熱が放散されません。そのため、培養期間中は、菌床同士の間隔を3cm以上に空けます。



夏の高温対策も含めて、何かお困りごとがありましたら、きのご振興センターへご相談ください。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL0575-1351-2535

森林文化アカデミー きのご振興センター  
技術普及係まで

## 林業用電動クローラ型一輪車とアシストスーツで運搬・疲労を軽減化

各地の人工林では、木材の利用期を迎え、伐採後に再造林を行っている現場が多く見られます。一方、森林技術者や林業従事者は減少しており、植栽適期に作業が集中すると労働力の確保が難しくなることもあります。更には獣害対策も必要となり、ますます人手不足となっています。

近年の新技术としては、無人航空機(大型ドローン)による資材運搬が行われるなど、作業の効率化と作業者の労力軽減に繋がる取組が多方面で進められています。資材等を運搬できる大型ドローンは、高価であり操作者の資格が必要なことからも、簡単には導入できない状況です。そうした中、大型ドローンよりも安価で作業者の労力の軽減に役立つと考えられる電動クローラ型一輪車とアシストス



電動クローラ型一輪車によるコンテナ苗運搬

ツを活用したコンテナ苗の運搬・植栽の検証について紹介します。

今回の植栽は、中部森林管理局森林技術・支援センターが本年度より取り組んでいる、林野庁統一課題「超緩効性肥料を用いたエリートツリー等コンテナ苗の活用」を実

証するための植栽です(詳細は中部森林管理局のHP、広報「中部の森林」十一月号をご覧ください)。

現地は高山市清見町大原地内のマツ谷国有林にあり、令和六年度から試験地設定等の準備を進め、令和七年九月二日に森林技術・支援センター七名、飛騨森林管理署五名、岐阜森林管理署四名、インターンシップで参加の飛騨高山高校二年生一名、岐阜県森林研究所一名で植栽を実施しました。この際、電動クローラ型一輪車でコン



アシストスーツ着用による植栽作業

テナ苗を運搬し、作業時に体への負担軽減ができるアシストスーツを着用しました。

参加者からは、「電動クローラ型一輪車については、「運転操作が簡単なのが良い」、「思ったよりパワーで扱いやすかった」、「クローラが地面をしっかりと捉えてくれるため歩くというよりも地面を滑るように前に進む感覚だった」、また、「アシストスーツの着用については、「腰から股関節にかけて固定されるため腰を痛める可能性が減ると感じた」、「腰のあたりをゴムのような素材で軽く支えてくれる感覚だった」との感想が聞かれました。

当日は、炎天下の中、造林作業の厳しさを体感しました。電動クローラ型一輪車やアシストスーツの着用を通して、現場作業における労力の負担軽減、作業効率の向上、安全確保に繋がる取組の必要性を改めて実感しました。

(中部森林管理局

森林技術・支援センター)

## 森林・林業関係イベントカレンダー(3~5月)

一般向け

開催日	行事名等	内容等	場所
			申込(問合せ)先/TEL
3月1日(日)~ 5月31日(日)	緑の募金(春期)	「緑の募金で進めようSDGs」をスローガンに家庭募金、企業募金、職場募金などを行います。 4月5日(日)に岐阜市「道三まつり」で、岐阜市緑の募金委員会とともに街頭募金を行います。	JR 岐阜駅 公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 TEL:058-273-7577
3月14日(土)~ 4月5日(日)	岐阜県緑化運動 ポスターコンクール 入賞作品 展示	令和7年度岐阜県緑化運動ポスターコンクール入賞作品49点をぎふ木遊館にて展示します。 【ぎふ木遊館の施設案内】 ●開館時間：10:00~17:00 ●入賞作品の観覧は、予約不要・入館料無料 ※ただし、木育ひろばの利用は、事前予約制で入館料(大人300円、高校生以下無料)が別途必要 ●休館日:毎週水曜日(水曜日が祝日の場合は、翌平日)	ぎふ木遊館 TEL:058-215-1515 森林活用推進課 TEL:058-272-8255

## 森林・林業関係イベントカレンダー(4月)

林業者向け

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場所
			申込(問合せ)先/TEL
4月22日(水)~ 4月24日(金)~	伐木等の業務 (チェーンソー)に係る 特別教育	●講習時間 22日 学科 8:50~17:10 23日 学・実 8:50~12:30 24日 実技 8:30~17:10 ●申 込：開催日の10日前まで ●受講料：24,530円(本代含む)(振込み) ●定 員：30名(定員になり次第締め切ります。)	22日(学科) 23日(学・実) ぎふ森林文化センター (岐阜市六条江東2-5-6) 24日(実技) 樹木の国 土場 (山県市椎倉203-1) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
4月28日(火)	刈払機取扱作業 安全衛生教育	●講習時間：学科 8:55~15:20 実技 15:30~16:30 ●申 込：開催日の10日前まで ●受講料：12,100円(本代含む)(振込み) ●定 員：30名(定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター (岐阜市六条江東2-5-6) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195

### コラム

65歳になりました。この3月で、再任用の任期も終わります。  
昭和59年に入社し、ずっと研究所で、42年間を過ごしました。何度も仕事を辞めたいと思いましたが、なんとか最後まで続けることができました。

4月から、どんな生活が始まるのか楽しみにしています。

「森林のたより」編集委員 森林研究所 水谷和人



### 4月号予定

#### イベント情報

#### 連載

- 山の歳時記(248)

#### 清流と森と親しむ

- 森林と人を活かす知恵(159)

#### 木と親しむ

- 岐阜県の公共木造建築(155)

#### 清流の国ぎふ森林・環境税

#### 森林・林業技術

- 研究・普及コーナー

#### 市況情報

#### その他

4月1日  
発行

## 木材市場

### 木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所 単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	気配	
第1897回 岐阜共販所	すぎ	3 m	16~18cm	14,200	—	↗	
		4 m	16~18cm	14,200	—	→	
			20~22cm	14,900	—	↗	
			24~28cm	14,800	—	↗	
			30cm以上	14,000	—	→	
	6 m	16~22cm	17,200	—	→		
	2月10日	ひのき	3 m	16~18cm	21,800	—	→
			20cm以上	19,500	—	↗	
		4 m	16~22cm	21,300	—	→	
			24~28cm	19,500	—	↗	
30cm以上			19,200	30,200	→		
6 m	16~18cm	—	—	→			
第1497回 飛騨共販所	すぎ	3 m	16~22cm	14,700	—	→	
		4 m	24~28cm	14,800	—	→	
			30cm以上	13,700	—	→	
	ひのき	3 m	16~18cm	21,800	—	→	
		4 m	20~22cm	20,500	—	→	
			24~28cm	19,500	—	→	
			30cm以上	19,200	—	→	
		6 m	16~20cm	—	—	→	
	2月11日	ひめこ	4 m	24~30cm	13,000	—	→
			30cm以上	15,000	44,800	→	
5 m		40cm以上	—	—	→		
くり		4 m	24cm以上	14,000	—	→	
第1831回 東濃共販所	すぎ	3 m	16~22cm	14,200	—	→	
		4 m	24~28cm	14,700	—	↗	
			30cm以上元	15,000	—	→	
	ひのき	3 m	16~22cm	21,500	—	→	
			24~28cm	19,800	37,000	→	
			30cm以上元	28,000	63,000	→	
		4 m	13cm以下	12,000	—	→	
			16~22cm	21,700	—	→	
			24~28cm	19,800	34,000	→	
			30cm以上元	29,000	58,000	→	
2月5日	6 m	18~22cm	29,500	—	→		
まつ	4 m	30cm以上元	—	—	→		

※単価は直材価格、但し平均値は並材二番玉価格。気配は、前回市との比較。

### 【商況】

スギ4mの元木・尺上良材は、活気のある入札で、価格は保合。スギラミナ向け3m・4m材は強含み。ヒノキ元木良材4mは入札旺盛で活気あり、価格は強含みで引き合いは強い。ヒノキ3m・4m構造材の価格は強含み。合板向けの価格は保合ながら納材は順調。製紙向けパルプ材、発電向け未利用材ともに原木不足感が強く需要高。(岐阜)

スギ、ヒノキは安定した値動き。ヒメコは40cm以上の優良材は引き合いが強い。スギ50cm以上の良質材は応札旺盛。広葉樹はサクラ、エンジュ(14cm以上無節、直材)、ナラ(30cm以上、赤身多)、オニグルミの引き合いが強い。高値は、ヒメコ4m×50cm@44,800円、ナラ2.1m×40cm@86,000円、クリ2.4m×54cm@89,000円、オニグルミ2.1m×36cm@40,000円、サクラ2.0m×30cm@33,000円、ヤナギ2.1m×32cm@30,000円。(飛騨)

スギ・ヒノキともに良材への応札が目立ち、市場はにぎわいを見せた。ヒノキは、4m元木や中目良材を中心に地元工務店からの引き合いが強く、相場は強含み。3m材では元木尺上材・柱役物材の引き合いが強く、強含みで推移した。3m・4m構造材は引き合い堅調ながら、価格は保合。2m尺上良材は保合を維持した一方、20cm以下の材は荷動きが鈍く、弱含みで推移した。スギは、4m元木・中目良材ともに不足感が見られ引き合いは好調、価格は保合継続。4m(24cm以上)の構造材、3m材ともに保合で推移し、6m長柱向け材(16~20cm)は需要が堅調で、引き続き好調な動きとなった。合板向けは、価格保合ながら納材は順調で、ラミナ向けもスギ、ヒノキともに活発な動きが続いている。(東濃)

### 製品卸売標準価格 (1月期)

単位:円

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m <sup>3</sup> 当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	68,000	( 2,249)	→
	間柱	3000	105	30	1等	70,000	( 662)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	76,000	( 3,352)	↓
	柱	3000	120	120	特等	75,000	( 3,240)	→
		6000	120	120	特等	155,000	( 13,392)	→
W集 ウッ ド材	柱	3000	105	105	国産5層	85,000	( 2,800)	→
		3000	120	120	国産5層	88,000	( 3,800)	→

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

### 外材市況 (1月期)

単位:100円(1㎡当たり)

樹種	規格	価格	前月比較
米松	SSタイプ	414	→
	コースト(目荒)	442	↑
米楡	へム(アラスカ産)	468	→
米ひば	ポール	—	—

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)

これってなあに? ~木材用語~

### ラフ

木材製品の表面処理の具合を指したもので、無処理の状態をいう。木材製品の表面加工方法としてはプレーナーがけ、モルダーがけ、サンダーがけなどがあり、用途に応じて表面円滑性を高めていく。

(参考)日刊木材新聞社 木材・建材用語辞典